

植物多様性センターの「樹木の芽吹き」

4月も半分を過ぎてどんどん暖かくなり、植物多様性センターの植物達は元気に成長しています。1月に記事でご紹介した冬芽たちも若葉を出しました。シロダモとクロモジの鱗芽は芽鱗を脱ぎ捨てて葉を広げ、ジャケツイバラとサルナシは冬芽がつるとなり、あっという間に伸びました。次々に咲く花に目を奪われてしまう季節ですが、葉や一年枝も虫食いや汚れが少なく、一番美しい季節です。公園やお庭、道端で植物が目に残ったら全体を観察してみてください。新しい魅力に気付けるかもしれませんよ。



シロダモ: 光沢のある絹毛を纏った若葉。



ジャケツイバラ: 先頭の冬芽だけが伸びた。



サルナシ: 隠れていた小さな芽が大きく成長した。



クロモジ: 葉が開くと同時に黄緑色の花が咲いた。